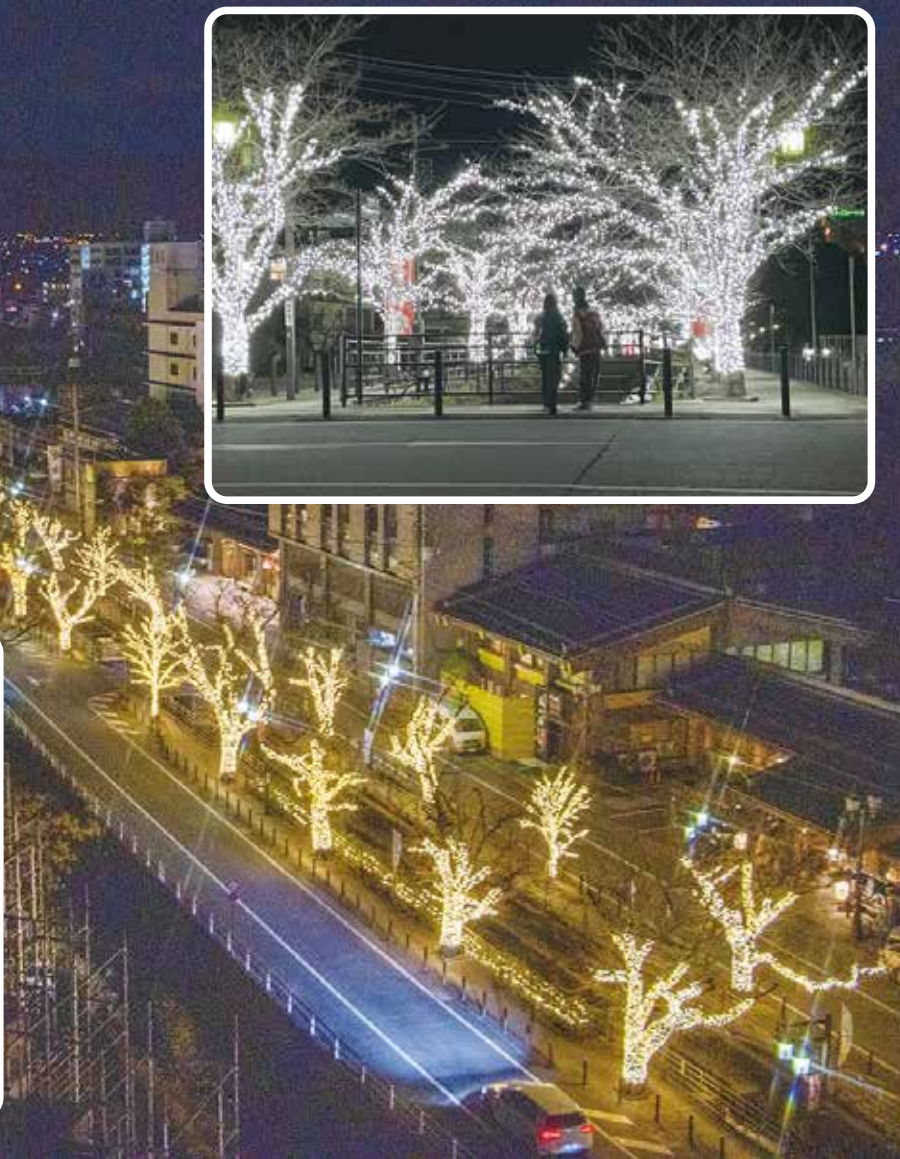


笛吹市 議会だより

令和5年1月24日発行

2023

Vol.73



FUEFUKI CITY

議長・副議長就任のあいさつ ② 質疑および一般質問 ⑦

常任委員会・組合議会構成 ③ 委員会レポート ⑬

第2回臨時議会 ④ 市民リレートーク/編集後記 ⑮

提出案件一覧表 ⑤

議長・副議長 就任のあいさつ

実り豊かで明るい
地域づくりに向けて



議長 芳 始
古屋

市民の皆さまには、市政および市議会に対し、温かいご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症対策への取り組みにご尽力されている皆さまに改めて敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。このたび、昨年11月の臨時議会において、皆さまのご信任を賜り、笛吹市議会の第10代議長の大変な要職を担うこととなり、その責務の重大さに身の引き締まる思いでございます。

新型コロナウイルス感染症の蔓延による「コロナ禍」はいまだ終息が見通せませんが、徐々に「withコロナ」として社会活動、経済活動が日常へ向かい動き出しています。本市にお

きまして市民の皆さまの、生活支援や経済対策はもちろんのこと、子育て、子どもたちへの教育などさまざまな課題に対して、市民の声を市政に反映させていくことが、より一層求められていると考えております。

私たち、市議会といたしましては、新型コロナウイルス関連、少子高齢化・人口減少、地域防災、公共施設老朽化などのさまざまな課題の解決に向け、市民の皆さまの多様な声に耳を傾け、安全で安心して暮らせるまちづくりに努めてまいります。また、議会基本条例に基づき、市民の皆さまに信頼され、開かれた議会運営の実現に向けた取り組み・議会改革を継続し、地方自治の本旨である、二元代表制のもと、市長としつかりとした議論を重ね、市議会議員一同その責務を自覚し、日々研鑽を積み、市民生活の向上、市勢発展に努め、市民のための施策を実践していくことが、笛吹市の明るい実りある未来に繋がるものと確信しております。今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

開かれた
市民のための議会



副議長 俊美 落合

市民の皆さまには日頃より市議会に対しまして、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、私は、昨年11月の議会臨時会におきまして、議員の皆さまのご信任を賜り、笛吹市議会第10代副議長に就任いたしました。その職責の重大さに、身の引き締まる思いでございます。任期4年の半ばで役職改選が行われ、新たな体制でスタートいたしました。今後は、議長の補佐役として議会の運営が円滑に進み、活力ある市議会となるよう努めてまいりたいと考えています。

笛吹市を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感

染に見舞われて以降、私たちが当たり前に過ごしてきた日常生活は大きく変わるとともに、経済が疲弊し大変な生活を送ることを余儀なくされていることなど、喫緊に対応すべき課題が多くあると思いますので、今後市議会においても、最重要項目として取り組んでいきたいと考えます。地域の発展と市民生活・福祉の向上を図るべく、市民の皆さまの声を拝聴しながら努力してまいります。公平・公正な議会運営に努め、コロナ禍の早期終息を願いながら、市民の皆さまが夢と希望を持ち、安心して生活できる笛吹市を目指し、議員一丸となり努力するとともに、「開かれた市民のための議会」となるよう議会活性化に取り組んでまいります。今後とも皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。副議長の就任あいさつといたします。

各委員会・組合議会の 構成が決まりました

令和4年11月11日～

議 長

古屋 始芳

副議長

落合 俊美

総務常任委員会 (6人)

◎荻野 謙一 ○河野 正博
河野 智子 渡辺 清美 前島 敏彦
保坂 利定

教育厚生常任委員会 (6人)

◎中村 正彦 ○山田 宏司
岡 由子 神宮司正人 中川 秀哉
渡辺 正秀

建設経済常任委員会 (7人)

◎武川 則幸 ○神澤 敏美
落合 俊美 野澤今朝幸 古屋 始芳
海野利比古 小林 始

議会運営委員会 (10人以内)

◎小林 始 ○河野 正博
荻野 謙一 中村 正彦 武川 則幸
海野利比古 小林 始 前島 敏彦
河野 正博 渡辺 清美 河野 智子

リニア対策特別委員会 (9人)

◎落合 俊美 ○渡辺 清美
古屋 始芳 落合 俊美 荻野 謙一
中村 正彦 武川 則幸 神宮司正人
小林 始 渡辺 清美 海野利比古

議会広報編集委員会 (6人)

◎岡 由子 ○河野 智子
河野 正博 中川 秀哉 落合 俊美
野澤今朝幸

東八代広域行政事務組合議会議員 (7人)

古屋 始芳 落合 俊美 荻野 謙一
中村 正彦 武川 則幸 前島 敏彦
河野 正博

峡東地域広域水道企業団議会議員 (5人)

古屋 始芳 落合 俊美 武川 則幸
神澤 敏美 海野利比古

甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員 (4人)

古屋 始芳 落合 俊美 中村 正彦
神宮司正人

釈迦堂遺跡博物館組合議会議員 (6人)

古屋 始芳 落合 俊美 中村 正彦
山田 宏司 渡辺 正秀
前島 敏彦

山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員 (1人)

山田 宏司

監査委員 (1人)

保坂 利定

議会改革委員会 (11人)

◎古屋 始芳 ○渡辺 正秀
古屋 始芳 落合 俊美 荻野 謙一 中村 正彦 武川 則幸 海野利比古
小林 始 前島 敏彦 山田 宏司 渡辺 清美 渡辺 正秀

令和4年第2回臨時議会提出案件一覧表

○賛成
(古屋始芳議長を除く)

種別	案 件 名	笛新会					清心会			誠和会		公明党		笛政クラブ		日本共産党		無党派	結 果		
		海野利比古	保坂利定	神宮司正人	荻野謙一	神澤敏美	武川則幸	落合俊美	山田宏司	河野正博	小林始	中村正彦	渡辺清美	中川秀哉	前島敏彦	古屋始芳	渡辺正秀	河野智子		野澤今朝幸	岡由子
人事	・ 監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	同意

令和4年第2回臨時会選挙・選任等

令和4年11月11日開会

種別	案件名	結果
辞職許可	・ 議長辞職 ・ 副議長辞職 ・ リニア対策特別委員会委員の辞職	許可
選挙	・ 議長の選挙 ・ 副議長の選挙	当选
議席変更	・ 議席の一部変更	決定
選任	・ 議会常任委員会委員の選任 ・ 議会運営委員会委員の選任 ・ 議会広報編集委員会委員の選任 ・ リニア対策特別委員会委員の選任	選任
選挙	・ 東八代広域行政事務組合議会議員の選挙 ・ 峡東地域広域水道企業団議会議員の選挙 ・ 釈迦堂遺跡博物館組合議会議員の選挙 ・ 甲府・ 峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員の選挙 ・ 山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	当选

人 事

氏 名 保坂 利定 (72)
住 所 一宮町本都塚

監査委員の選任 同意

行政視察研修受け入れ

埼玉県日高市議会 令和4年10月5日 (水)

日高市議会議会運営委員会（議員7名・事務局1名）の皆さまが「議会基本条例に基づいた取り組み」について、視察研修のため来庁されました。市議会からは、保坂利定議長が歓迎のあいさつを行い、前島敏彦議会運営委員長より、説明を受けました。



群馬県安中市議会 令和4年10月20日 (木)

群馬県安中市議会議会広報編集委員会（議員7名・事務局1名）の皆さまが「議会だよりの編集」について、視察研修のため来庁されました。市議会からは、神澤敏美副議長が歓迎のあいさつを行い、河野智子委員長より、説明を受けました。

福岡県朝倉市議会 令和4年11月7日 (月)

福岡県朝倉市議会建設経済常任委員会（議員6名・事務局1名）の皆さまが、「鵜飼に対する行政の支援」について、視察研修に来庁されました。市議会からは、保坂利定議長が歓迎のあいさつを行い、笛吹市観光物産連盟事務局長より、説明を受けました。



令和4年第4回(12月)定例議会提出案件一覧表

○賛成 ●反対
 ⑨賛成討論 ⑩反対討論
 (古屋 始芳議長を除く)

種別	案 件 名	笛新会					清心会			誠和会		公明党		笛政クラブ		日本共産党		舞会派		結果			
		海野利比古	保坂利定	神宮司正人	荻野謙一	神澤敏美	武川則幸	落合俊美	山田宏司	河野正博	小林始	中村正彦	渡辺清美	中川秀哉	前島敏彦	古屋始芳	渡辺正秀	河野智子	野澤今朝幸		岡由子		
条例制定改正	・ 個人情報保護法施行条例の制定 ・ 個人情報保護審査会条例の制定 ・ 健康増進施設条例等の一部改正 ・ 議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正 ・ 市職員給与条例及び笛吹市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正 ・ 市職員の定年等に関する条例の一部改正 ・ 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定 ・ 消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正 ・ 国民健康保険財政調整基金条例の一部改正 ・ 特定公共賃貸住宅条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	可決		
	・ 一般会計補正予算（第7号） ・ 国民健康保険特別会計補正予算（第3号） ・ 介護保険特別会計補正予算（第3号） ・ 後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号） ・ 農業集落排水特別会計補正予算（第3号） ・ 境川観光交流センター特別会計補正予算（第2号） ・ 水道事業会計補正予算（第1号） ・ 市営春日居地区温泉給湯事業会計補正予算（第1号） ・ 公共下水道事業会計補正予算（第1号） ・ 簡易水道事業会計補正予算（第1号） ・ 一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長		○	○	○	○	可決	
その他	・ 変更契約の締結（浅川中学校校舎長寿命化改修工事(建築)(債務)） ・ 変更契約の締結（浅川中学校校舎長寿命化改修工事(機械設備)(債務)） ・ 変更契約の締結（一宮西小学校校舎改修工事(建築)） ・ 動産の取得（指定避難所防災備蓄倉庫設置） ・ 動産の取得（小型動力ポンプ積載水槽車購入(石和分団第5部)(明許)） ・ 権利の放棄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	可決	
	・ 公の施設に係る指定管理者の指定（石和第四保育所）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			時	●	○	○	可決	
	・ 公の施設に係る指定管理者の指定（石和温泉駅前観光案内所） ・ 公の施設に係る指定管理者の指定（御坂路さくら公園） ・ 公の施設に係る指定管理者の指定（石和小林公園・石和温泉駅前公園・近津ふれあい公園） ・ 公の施設に係る指定管理者の指定（御坂成田弓道場） ・ 公の施設に係る指定管理者の指定（境川弓道場） ・ 公の施設に係る指定管理者の指定（八田御朱印公園）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	可決	
	・ 甲府市とのやまなし県央連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結に関する協議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			●	討	○	○	可決	
	・ 市道廃止 ・ 市道認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	可決	
	人事	・ 人権擁護委員の候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	可決
		・ 公平委員会委員の選任 ・ 黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算（第1号） ・ 名所山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	同意

第4回定例会・会期日程

11月25日（金）議会運営委員会、
全員協議会

12月2日（金）

■開会

●本会議

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・市長行政報告

・提出議案の説明

・質疑・討論・採決

12月12日（月）

●本会議 質疑および一般質問

12月13日（火）

●本会議 質疑および一般質問

（予備日）

・委員会付託

12月14日（水）～15日（木）

●各常任委員会（付託事件審査）

12月16日（金）

●常任委員会（予備日）

12月20日（火）

●本会議

・議会運営委員会

・全員協議会

・委員会審査報告

・追加議案の説明

・委員会付託

・討論・採決

■閉会

議会日誌 GIKAI diary

9月 September

- 1日 質疑・質問通告期限
通告確認会議（通告確認および許可）
- 4日 笛吹市総合防災訓練
- 5日 第3回定例会本会議（開会）
- 13日 第3回定例会本会議（質疑および代表質問）
- 14日 第3回定例会本会議（一般質問・付託）
- 16日 常任委員会
- 20日 常任委員会
- 21日 常任委員会（決算認定審査）
- 22日 常任委員会（決算認定審査）
- 26日 常任委員会（決算認定審査）
- 30日 議会運営委員会・議会全員協議会
第3回定例会本会議（最終日）

10月 October

- 5日 行政視察研修受入（埼玉県日高市議会）
- 6日 甲府・峡東地域ゴミ処理施設事務組合議会 研修受け入れ
- 12日 市制施行17周年記念式典
多目的芝生グラウンド研究会
- 18日 峡東地域世界農業遺産推進協議会
峡東地域広域水道企業団全協及び定例会
- 19日 第17回全国市議会議長会研究フォーラム
- 20日 行政視察研修受入（群馬県安中市議会）
- 24日 甲府・峡東地域ゴミ処理施設事務組合議会
令和5年新春交歓会発起人会
- 25日 くぬぎ平スポーツ公園視察研修

25日 定例全員協議会

27日 令和4年第2回山梨県後期高齢者医療広域連合議会運営委員会・全員協議会・定例会

28日 釈迦堂遺跡博物館組合議会議員全員協議会・定例会

31日 甲府・峡東地域ゴミ処理施設事務組合議会幹事会・全員協議会・定例会
消費拡大キャンペーン

11月 November

- 1日 甲州市制施行17周年記念式典
- 2日 山梨県市議会議長会（第268回定期総会）
笛吹市戦没者合同慰霊祭
- 11日 議会運営委員会・全員協議会
第2回臨時会
- 13日 第17回笛吹市フルーツロード駅伝競争大会
- 14日 知事要望活動
- 15日 質疑・質問通告書発送
- 18日 質疑・質問受付開始
新議長、副議長あいさつまわり（中央市議会・甲府市議会・笛吹市商工会・笛吹警察署）
- 21日 令和5年新春交歓会発起人会
- 22日 甲府・峡東地域ゴミ処理施設事務組合議会（幹事会）
- 25日 議会運営委員会
議会全員協議会
- 29日 山梨法人会 要望活動
- 30日 新議長・新副議長あいさつまわり（JAフルーツ山梨・甲州市・山梨市議会）
質疑・質問通告期限
通告確認会議（通告確認および許可）
笛吹地区暴力追放委員会定期総会

〈議会報告会 について〉

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、大人数での会議等が開催できない中、議会内でも、様々な開催方法について検討してきましたが、今年度の議会報告会は中止することといたしました。

また、次年度以降の開催へ向け、引き続き、開催方法を検討してまいります。

12月
定例議会

市民の声

質疑および一般質問

本会議では、10人の議員が質疑および一般質問をしました。

以下は質疑・質問と答弁を要約したものです。



一般質問

渡辺議員 政府は令和5年4月創設の子ども家庭庁の基本方針で「就学

問 子育て支援は

中村子供すこやか部長 母子健康手帳交付時や、妊婦が転入する際の手続き時を利用し、制度説明用のリーフレットの配布や、市のホームページに制度を掲載し、周知に努めている。市内企業82社の回答では、男性の育児休暇取得率10%に留まり、制度が浸透していない。企業の理解を深め、男女とも仕事と育児を両立できる環境づくりに努めていく。



現在の母子健康手帳

中村子供すこやか部長 経済的支援の支給形態は現金給付、出産準備や育児のために有効活用いただきたい。妊娠時から出産、子育て期まで一貫した伴走型支援と経済的支援の実施により、全ての妊婦や子育て家庭で、安心感の醸成と孤立感や不安感の軽減が図れる取り組みを進めていく。

答 安心感の醸成を図る

前の全ての子どもの育ちの保障を担う」と強調。子育て世帯に対し支援が手薄な0～2歳児に焦点を当て、育児不安を和らげ、孤立防止が目的だ。経済的負担の軽減、妊娠時からの伴走型相談支援を一体的なパッケージとして継続的に実施するが、市の取り組みは。



渡辺清美議員
(公明党)

問 男性の育児休業取得は

答 仕事・育児の両立環境つくる

渡辺清美議員 男性の育児休業取得を促すため、10月から産後パパ育児

(出生時育児休業)制度がスタートした。従来の育児制度とは別に、子どもの出生後8週間以内に最大4週間の育児を2回にまで分けて取得でき、新制度利用者には、国の雇用保険から休業前賃金の67%相当の給付金が支給される。育児取得率の向上を官民挙げて推進すべきだが、本市の取り組みをお伺いしたい。

中村子供すこやか部長 母子健康手



前島敏彦議員
(笛政クラブ)

問 甲斐国分寺・国分尼寺跡
保存整備事業は

答 現状分析と課題を抽出

前島敏彦議員 ①保存活用計画の概要と策定状況は。

②公有地化が80%を超えているが、公有地化完了の見込みは。

③令和6年度に整備基本計画の策定を予定しているが、市としてのどのような方向性の整備を考えているか。

赤尾教育部長

①計画策定に向け保存活用計画検討委員会を設置、史跡の現状分析と課題抽出を行っている。
②国分寺は81%、国分尼寺は87%の公有地化が完了し、残りも早期の公有地化を進めていく。
③歴史学習の場として整備するエリアと、憩いの場として活用するエリアが両立する計画を検討したい。

問 青楓美術館について

前島議員

①運営協議会では移転に関し、どのような意見が出されたか。
②青楓美術館の設立者小池唯則氏のご遺族に、春日居郷土館への機能移転の説明経過と、どんな意見があったか。
③クラウドファンディングを活用し、



建物耐震化やバリアフリー化、施設拡張も選択肢だが、市の見解は。
④展示方法や作品の魅力を伝えるガイド育成などの取り組みは。
⑤津田青楓作品以外で所有している美術品の現在の保管状況は。

答 春日居郷土館への集約が適切

赤尾教育部長 ①設立者の意思の尊重や青楓美術館の名前を残すなど。
②御遺族には代理人を通して説明。収蔵品をよそに移さないでほしいとの意見。
③春日居郷土館への機能集約が適切。施設改修や拡張に向けたクラウドファンディング活用は考えていない。
④現在の学芸員の知識を深める。
⑤津田青楓以外の作品は320点、市の施設で展示や保存庫に収蔵。



武川則幸議員
(笛新会)

問 災害に備えた危機管理体制は

答 モデル地区を選定し
作成支援

武川則幸議員 ①河川氾濫の恐れに対し、市民への具体的対応は。

②水害に特化した職員対応マニュアルや地区防災計画策定支援、各避難所運営マニュアル策定の進捗状況は。

③中小河川の立木対策、河川の良い維持管理はどう進めるのか。
④避難所運営の見直しは。

⑤マンホールトイレを、各避難所に設置することを検討すべきと思うが。

⑥「個別避難計画」の作成には、福祉専門職の参画が不可欠。現況は。

⑦浸水想定区域内及び土砂災害警戒区域内にある学校数は。

⑧災害廃棄物処理計画は。

深澤総務部長 ①情報収集の上で避難情報の発令等を判断、防災行政無線等で、災害情報や避難情報を提供。

②地域防災計画の改定に着手、今年度末に計画策定マニュアルが完成。

③定期パトロールや除去を実施。
④避難者名簿を基に、避難所運営委員が一覧表を作成。システム導入も研究中。

⑤排水ルートの耐震化や水の確保が前提。順次整備する計画。

問 みさかの湯、ももの里温泉整備は

武川議員 ①コロナ禍前を含めた来館者の推移は。

②現状調査の結果と今後の対応は。

答 改修に向けた検討を進めている

雨宮市民環境部長

①みさかの湯は令和元年度18万5千人、2年度6万9千人、3年度10万5千人、ももの里は元年度6万人、2年度3万3千人、3年度が3万8千人。

②施設内外に様々な不具合が生じ、給排水設備等も老朽化。改修が必要との調査結果で、検討を進めている。



河野正博議員
(清心会)

問 笛吹市小学校区について

答 旧町村の学区を引き継ぐ

河野正博議員 ①小学校の学区の経緯は。

- ② スクールバス利用児童の数は。
- ③ 調整区域とはなにか、目的は。
- ④ 調整区域とする行政区と児童数は。
- ⑤ 25人学級を見据え教室不足は。
- ⑥ 芦川小は小規模特認校、内容は。

赤尾教育部長

- ① 合併協定項目により、旧町村の学区を引き継いでいる。
- ② 御坂西小学校で133人、御坂東小学校で9人、八代小学校で97人、境川小学校で16人。
- ③ 指定校以外の学校を選択できる区域のことで、通学距離等の課題の解決など地域の実情により設定。
- ④ 調整区域は御坂町成田区、一宮町塩田区県営一宮団地、境川町間門区、御坂西小に62人、石和東小5人、一宮南小3人、一宮西小11人、境川小に1人が通学。
- ⑤ 25人学級選択の場合、教室数が増え教室不足が懸念されるが、アクティブラスを選択の場合、教室数に変わりはない。
- ⑥ 少人数で特色ある教育を実施、市内在住児童の就学を認める形で実施。

問 小学校児童の学力向上は

河野議員 ①全国学力テストの目的と結果の判断基準は。

- ② 令和3年度と4年度の結果は。
- ③ 成果と課題、具体的施策は。
- ④ 国語力（読解力）向上は。
- ⑤ タブレットの新たな取り組みは。

答 学力調査の結果を分析し 学力向上に向け取り組み

赤尾教育部長

- ① 教育指導の充実などに役立てることが目的。全国平均正答率のプラスマイナス5ポイント以内が全国同等の学力と判断。
- ② 3年度は国語は全国を下回り、算数は同等。4年度は国語、算数とも全国同等。
- ③ 成果として基礎学力は定着、記述式問題を解く力に課題。解決に向け、各学校の実態に応じて進める。
- ④ 児童の読解力向上は重要課題、語彙を豊かにする読書活動を推進。
- ⑤ 新たに国語、算数、理科、社会のデジタルドリルを導入。



神澤敏美議員
(笛新会)

問 スポーツ振興を観光資源に

答 県外チーム招待で観光振興に期待

神澤敏美議員 笛吹市スポーツ協会

では157の競技団体が登録。各種団体の競技の普及、発展と生涯スポーツ振興の充実で、地域の活力が生まれる。スポーツ振興を資源として観光産業に寄与し、賑わいのある温泉郷づくりが必要。

- ① 市長杯などの冠競技数は。
- ② 冠大会の主催と運営は。

③ 実年ソフトボール大会は、合併前の平成11年から20年間、山梨県を中心に関東・信越・東海から多い時には130チーム、役員を含み2、700人の選手が集い、温泉街も満杯になったと今でも語り草になっている。石和春日居温泉郷に足を運んでいた確かなイベント開催を考え、笛吹市長杯の冠で、実年ソフトボール大会を開催し、市の観光発展を望みたい。

④ 市長杯を冠にした大会のうち、サッカー、グラウンドゴルフ、ゲートボール、ボーリングおよびソフトテニスの5種目を開催。

⑤ 市長杯を冠にした大会のうち、サッカー、グラウンドゴルフ、ゲートボールおよびボーリングの4種目は、主催者として市スポーツ協会に所属する各競技の協会が、大会の準備を含め全ての運営を行っている。ソフトテニス、市ソフトテニス連盟が大会当日の運営、ふえふき文化・スポーツ振興財団が、開催に向けた準備と大会当日の運営補助に当たっている。

⑥ 市長杯を冠にした実年ソフトボール大会の開催は、競技の普及だけでなく生涯スポーツの振興につながる。また、県外チームを招待することで、笛吹市の観光振興にも寄与することが期待される。市ではこれまでも、各競技協会等による大会などの活動を支援してきた。ソフトボール大会も、他の競技協会の大会と同様に、支援したいと考えている。





岡 由子議員
(無会派)

問 外国人用ごみ分別ガイド作成を

答 多言語ガイドの作成や
動画配信など幅広く研究

岡 由子議員 市内の外国人は令和4年4月現在男性446人、女性695人で、この10年で200人以上増加している。

①外国人のごみ出し分別サポートの実施は。

②分別ルールやマナーは内容変更がある。多言語マニュアルを作成し、HP公開や動画配信など普及啓発を。

両宮市民環境部長

①日本語・中国語・英語の多言語で看板設置、窓口や電話での問い合わせもサポート。

②スマートフォンアプリは多言語化も可能。導入の検討進め、多言語ガイド作成や動画配信含め研究する。

問 学校プール

民間活用モデル事業は

岡議員 石和南・東・北の3小学校を対象に、民間の屋内プール活用モデル事業を実施してきた。

①児童や保護者の評価は。

②指導教師や学校からの評価は。

③民間活用モデル事業やプールの統合等、事業拡大の予定は。

④市外の屋外プール事業所活用は。

答 モデル事業を検証し
在り方を研究

赤尾教育部長

①モデル事業の児童へのアンケート調査では好評、保護者からも高い評価を得た。

②教師へのアンケート調査では、専門インストラクターの指導が勉強になったなどの評価を得た。

③市内の学校プールの多くは、設置後30年以上経過し、老朽化が進み維持管理が課題。現在、モデル事業を検証し、民間プールの活用や複数校でのプールの共用化を含めた学校プールの在り方を検討している。

④現在、市内には民間プールが1カ所しかないことから、笛吹市周辺の民間プールも活用の対象施設として検討している。



山田宏司議員
(清心会)

問 FUJIYAMAツインテラスは

答 ニーズ調査で高い評価

山田宏司議員 令和4年度より営業を始めた新道峠展望台「FUJIYAMAツインテラス」だが、本格営業を通して見えた成果と課題、地域への影響、今後の展望について伺う。

①バス利用者と運行状況は。

②ツインテラスを利用した観光客の石和・春日居温泉郷への誘客の取り組み状況は。

③アサギマダラの調査と観光資源として生かす取り組み状況は。

④今後のツインテラス周辺環境整備計画は。

⑤利用者がツインテラスと周辺に望むニーズの調査状況は。

⑥芦川地域への経済面の成果と環境面の課題は。

小宮山産業観光部長

①送迎バスの利用者数は延べ42、406人、沢妻亭発着の便数を増やし、すずらん群生地バス停発着の便を新たに運行することで、順調に実施できた。

②旅行者向けの「国内観光活性化フォーラムinやまなし」に出展し、石和・春日居温泉郷への誘客を広く

アピール。JR国分寺・三鷹・吉祥寺3駅でも宣伝。都内大手旅行代理店5社にトップセールスを実施。石和温泉旅館協同組合では、早朝プレミアムツアーと称し、誘客事業実施。

③飛来の確認は、送迎バスの運行コースの点検時に実施。今後もアサギマダラ飛来時の写真や、周辺の山野草の情報を市HPやSNSで適時発信していく。

④すずらん群生地駐車場に、水洗でも処理水を外部に出さない環境配慮トイレを設置、大型バスのすれ違いができるよう道路改良工事も実施。

⑤ツインテラスを訪れた利用者1、000人を対象にニーズ調査実施、想像以上にすごかったなどの回答が94%で高評価を受けた。継続的なニーズ調査を行っていく。

⑥芦川地域の経済活性化に貢献。環境面に配慮し、設置トイレの排水や樹木伐採など、国や県の指導を受けながら事業を実施している。



FUJIYAMAツインテラス



中川秀哉議員
(公明党)

問 家庭用太陽光パネル、ポータブル電源機器の購入助成を

答 補助制度創設を検討する

中川秀哉議員 家庭用太陽光パネル・ポータブル電源機器の購入助成を求める。

①グリーンライフポイント事業に対する市の取り組みは。
②県の原油価格・物価高騰対策を参考にした市の取り組みは。

③家庭用機器の購入助成は。

④各行政区に対する購入助成は。

雨宮市民環境部長 ①導入の必要性や有効性を研究し、制度内容等についても広報紙などを通じ周知していきたい。

②原油価格や物価高騰の影響を受けている市民生活の応援と、市内事業者の支援のため「ハートフルタウン笛吹！商品券事業 第2弾」を実施、国・県の支援策を整理し、検討する。

③定置型の住宅用太陽光発電システム・住宅用蓄電池の設置に係る補助制度創設



の検討を進めている。

④太陽光パネルとポータブル電源機器の購入は、防災機械器具に該当するため、笛吹市自主防災組織防災設備整備費補助金の対象としている。

問 LED防犯灯機器更新助成は

中川議員 ①行政区の最大設置数、最小設置数、総事業費と助成金額は。

②令和6年度行政区運営交付金削減額と活用方法、設置・更新の助成は。

答 更新助成は調査研究する

雨宮市民環境部長 ①設置総数は

6、500基、最も多い行政区は194基、最も少ない行政区は補助事業実施前にLED化を終えており0基。総事業費は6、238万円。機器更新は上限1万円を交付。

②平均で25%、市内全体で2、100万円の減額。公民館修繕の補助金を創設。LED防犯灯器具の交換費用助成の必要性は調査研究していく。



河野智子議員
(日本共産党)

問 多目的芝生グラウンドは

答 基本計画策定の課題を検討

河野智子議員 ①芝生グラウンドは整備に至らなかったが、検討内容と反対理由は。

②複数部署での検討は。

③JA・農業委員会等の意見は。

④防災機能を入れた理由は。

⑤グラウンド整備後の構想は。

返田総合政策部長 ①笛吹市スポーツ施設検討委員会を設置し、いちのみや桃の里スポーツ公園、花鳥の里スポーツ広場、清流公園、石和町砂原の多目的広場、県立笛吹高校のグラウンド、県立博物館西側の6カ所を検討、「既存施設の芝生化で憩いの場としての公園がなくなる」といった反対意見も出された。

②多目的芝生グラウンド整備検討プロジェクトチームを編成し、基本計画の策定に伴う課題を検討している。

③意見交換会やパブリックコメントを実施し、市民の意見を聞いた。

④指定緊急避難場所を補完するよう、基本計画案の整備方針に一時的な避難場所として位置付けた。

⑤現在の利用状況などを踏まえながら、順次、既存の社会体育施設を改

修し、多様化する利用ニーズや、学校部活動の地域移行に対応した、専門性の高い施設としていきたい。

問 保育料完全無償化を求める

河野議員 ①0～2歳児の入園者数は。

②保育料無償化、必要な予算規模は。

③産休後でも入園できる体制は。

④保育料を無償化する考えは。

答 国の動向注視し検討する

中村子供すこやか部長 ①0歳児

177人、1歳児319人、2歳児343人。

②年間1億4、138万円必要。

③定員に空きのある保育所を案内、入所可能な保育所を増やすためにも、保育士の確保に努めている。

④住民税非課税世帯等を対象に実施、国の動向注視し検討する。





渡辺正秀議員
(日本共産党)

問 物価高対策、基金の積極活用を

答 基金は効果的に活用する

渡辺正秀議員 ①市の債務に係る実質的な将来負担額は、令和3年度約9億円、この資料で間違いないか。

②県内12市町村で完全無償化、全国でも給食費無償化が進んでいる。通達、国会答弁を市は承知しているか。給食費無償化は違法ではないと思うがどうか。

③4月以降も給食費無償を求める。
④管財・担当課・指定管理者が合同で施設・設備の点検を行い、改善の予算化をするよう提案する。
⑤基金の積極的活用を求める。

返田総合政策部長 ①議員作成の資料のとおり。

②無償化が違法とは考えていない。通達、国会答弁は承知している。
③物価の変動を注視し総合的に判断。
④施設の修繕や改修の必要性を確認する項目を加えて、モニタリングを実施、指定管理者と密に連携し、市民サービスに支障がないよう進める。
⑤社会情勢・事業目的を勘案し、各種基金を効果的に活用していく。

問 危機管理アドバイザー設置は

渡辺議員 ①不祥事の発生防止は市幹部の役割。非常勤特別職が個人の識見での指導があつてはならない。
②要項に規定された非常勤特別職による職員の指導は法に抵触しないか。
③指導は職員の委縮を生み、市組織の体系を崩すものではないか。
④二つの職務を行う危機管理アドバイザーの設置は適切か。

答 設置は法に抵触しない

深澤総務部長 ①職員の指導は管理職の役割と認識、補完する役割を期待し設置した。

②③法に抵触するとは考えていない。要綱内の「指導」は、地方公務員法第3条における「助言」の範疇において、より丁寧な教えを期待するもの。
④職員の非違行為の防止や防災対策は、市職員に求められる危機管理能力から、共通の課題であると認識。

人事

人権擁護委員の候補者の推薦

芦澤 あしぞわ 栄【再任】（春日居町別田）

任期 令和5年4月1日から3年間

公平委員会委員の選任

芦澤 あしぞわ 文【新任】（春日居町別田）

任期 令和5年4月1日から3年間

黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任

雨宮 あめみや 博【新任】（二宮町末木）

任期 令和7年3月31日まで

名所山恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任

七澤 ななさわ 福富【新任】（境川町藤堂）

成島 なるしま 光一【新任】（境川町藤堂）

橋田 えがわ 宗一【新任】（境川町藤堂）

江川 かわがわ 英明【新任】（境川町藤堂）

布施 ふせ 智樹【新任】（境川町藤堂）

長田 おさだ 正明【新任】（境川町藤堂）

岡 おか 和彦【新任】（境川町大窪）

任期 令和6年12月31日まで



総務常任委員会

委員長 荻野 謙一 副委員長 河野 正博

委員 河野 智子 渡辺 清美
前島 敏彦 保坂 利定

12月14日、15日の2日間、委員会を開催。付託された条例の制定3件、条例の一部改正5件、令和4年度一般会計補正予算1件、変更契約の締結3件、動産の取得2件、連携協約の締結に関する協議1件の計15件を審査し、賛成全員14件、賛成多数1件で原案の通り可決すべきものと決した。おもな質疑答弁は次の通り。

〈総務部所管〉

Q 消防団員の出勤報酬の支給対象となる団員が従事する災害、警戒、訓練等の職務のうち警戒の説明を求め。

A 気象警報発表時や果実盗難防止のパトロールを想定している

Q 備蓄品整備事業の、購入するワンタッチパーティ

シヨンの保管場所について説明を求める。

A 令和3年度から令和5年度までに指定避難所に整備する防災備蓄倉庫に保管する。

【意見】

総務部管財課の審査では、設計段階から担当課・業者と慎重に事業を進め、大きな変更が極力起きないように

に事業を進めてほしい。また、設計業者の管理・監督をしっかりとするようにとの意見があった。

〈総合政策部所管〉

Q ふるさと納税運営代行業務委託について、想定している事業者は何社ぐらいあるのか。

A 想定している事業者は県内事業者を含め5社から6社である

Q 「甲府市とのやまなし県央連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結に関する協議」について、今後のスケジュールは。

A 国が定めた連携中枢都市圏構想推進要綱に基づき、圏域を形成しようとする甲府市および各市町で連携協約の締結に関する協議について議会で議決がされた後に、2月に甲府市と各市町が連携協約を締結。さらに、連携中枢都市圏の中長期的な将来像や連携して推進する取り組みなどを示した連携中枢都市圏ビジョンについて、構成市町の首長会議での承認を得た後、甲府市

がビジョンを公表することにより、連携中枢都市圏が形成される。

Q 連携して推進する取り組みは。

A ビジョンに各取り組みを記載した上で、推進していく。

【説明】

各取り組みの追加や廃止については、ビジョンを毎年見直すこととなっており、甲府市が設置するビジョン懇談会で検証も含め協議の上、首長会議での承認を得た後に公表し、議会全員協議会で報告する。



委員会審査



教育厚生常任委員会

委員長 中村 正彦 副委員長 山田 宏司

委員 岡 由子 神宮司正人
中川 秀哉 渡辺 正秀

12月14日、15日の2日間、委員会を開催。付託された条例の一部改正、令和4年度一般会計補正予算の各1件、令和4年度特別会計補正予算、指定管理者の指定の各4件の計10件を審査し、賛成全員9件、賛成多数1件で原案の通り可決すべきものと決した。おもな質疑答弁は次の通り。

〈子供すこやか部所管〉

Q 石和第四保育所の定員および選定されている指定管理者の実績や規模を伺う。

A 石和第四保育所は定員200名。選定されている指定管理者は現在、小規模保育所、企業主導型保育所を行っており、それぞれ、19名、30名の定員で実施している。

Q 施設の老朽化はどうか。

A 建築耐用年数は47年で、残年数は3年である。

Q 保育所の引き継ぎやサービスの継続についてはどうか。

A 指定管理の導入に当たっては保護者会とも打ち合わせ等を行い、保育所の引き継ぎは令和5年4月から指定管理の予定であるが、入所児童への急な環境の変化に配慮するため、1月～3月までは、指定管理者の職員が保育所へ来て引き継ぎ期間とし、令和5年度は1年間、3人の市の保育士を派遣する。また、現在のサービスは継続して行うことになっている。

【意見】

子どもが安全に過ごせ、保護者が安心して預けられるよう、モニタリングや指導等をしつかりして欲しい。また協定書の事項を遵守し執行してもらいたい。

【反対討論】

選定された指定管理者に對して、現在運営している

規模と、指定管理を行う施設との規模の差などを考えると、石和第四保育所の指定管理の移行は拙速であり、いろいろな意味で不安であるとして、反対の討論があった。

〈保健福祉部所管〉

Q 「生活のしづらさなど

に関する調査委託金の追加」の「調査」の内容について説明を求める。

A 障がいや難病等により、日常生活のしづらさが生じている在宅の方を対象に、生活実態と支援ニーズを把握する事を目的に国が実施する調査である。調査対象地区および人数は、石和町・一宮町地域で対象者は156世帯、422人である。

〈教育委員会所管〉

Q 八田御朱印公園の指定管理業務内容について伺う。

A 指定管理者には公園の管理業務のみを委託して、入館料はとっていない。公園内にある八田家書院については、文化財課が管理している。観覧料をとっている。

【意見】

コロナ禍後の事ではあるが、温泉街にも近い立地であり、観光にも生かせるような場所として、また広く市民にも文化を知っていただけるよう、検討していただきたい。



来年度から指定管理予定の石和第四保育所

建設経済常任委員会

委員長 武川 則幸 副委員長 神澤 敏美

委員 落合 俊美 野澤今朝幸
古屋 始芳 海野利比古
小林 始

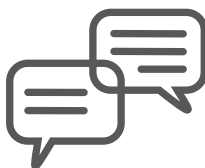
12月14日、15日の2日間、委員会を開催。付託された条例の一部改正、令和4年度一般会計補正予算、農業集落排水特別会計補正予算、水道事業会計補正予算、温泉給湯事業会計補正予算、公共下水道事業会計補正予算、簡易水道事業会計補正予算の各1件、権利の放棄1件、指定管理者の指定3件、市道の廃止1件、市道の認定の各1件の計13件を審査し、賛成全員でいずれも原案のとおり可決すべきものと決した。おもな質疑答弁は次のとおり。



市道6040号線道路認定現地確認

〈建設部所管〉
Q 市営住宅の家賃の滞納額が、なぜこのように高額になってしまったのか経過を伺う。
A 毎年収入申告をしてもらい翌年度の家賃を算定しているが、未申告の場合、収入金額により安価で設定している家賃が、近傍同種の家賃となり、それが一人は51カ月、もう一人は34カ月の滞納であり、滞納額が増えた。

市議会に対するご意見をお寄せください



笛吹市議会に対して疑問に思うことやご意見などを募集いたします。ぜひ皆さまの声をお寄せください。

送付先は、下記メールアドレスをお願いします
gikai-jimu@city.fuefuki.lg.jp

議会を傍聴してみませんか！

議会運営内容が確定後、市ホームページ上で会期日程・質問内容（表題）を公開しております。

令和5年第1回定例会本会議の日程（予定）

2月 21日（火）	午後1時30分～	開会（初日）	市長施政方針・提出議案説明
3月 2日（木）	午前10時～	質疑及び代表質問	
3日（金）	午前10時～	質疑及び一般質問・付託	
6日（月）	午前10時～	質疑及び一般質問（予備日）	
13日（月）	午後1時30分～	委員会審査報告 討論・採決	
23日（木）	午後1時30分～	閉会（最終日）	委員会審査報告 討論・採決

※日程等に変更がある場合もあります。お気軽にお越しください。

※現在、新型コロナウイルス感染症対策として傍聴席（定員42名）を約半数にさせていただいております。

※常任委員会も傍聴可能です。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

※NNS・甲府CATV（10チャンネル）で、市議会の録画中継が見られます。

お知らせ

- ・八代庁舎（1階ロビー）のモニターで議会中継をご覧いただけます。
- ・市ホームページにて過去の代表質問、一般質問の動画をご覧いただけます。



地球温暖化



石和町今井 誠
池田

この頃「ポツンと一軒家」・「かぐの里」などのテレビ番組を好んで観ています。自然の中で無理なく、溶け込むように暮らしている様子が憧れる

気持ちがあるからでしょうか。近頃外も歩けない暑さ、川がすぐ氾濫するほどの豪雨、台風の異常発生、暖冬など、その激しさが増しているように思えます。その一因に地球温暖化があり、このまま推移すると、地球の回復力は失われ、暑くなる一方と言います。

大量生産・消費という今までと違う暮らし方が求められていて、それは次世代へ残す最大の贈りものと言えないでしょうか。

ドライブ



境川町石橋 厚
許山

車の運転が大好きです。高速道路を巡航するよりも、ワインディングロードを走るのが好きです。曲がりくねった峠道を加速、減速しながらステアリングを操り、人馬一体の気分で行きます。甲府盆地は四方八方を山に囲まれているので絶好の峠道が沢山あります。家の近くにもお気に入りの道がいく

つかあります。土曜日の午後、気分転換に出かけます。ドライブングシューズを履き、真っ赤なグローブをはめて、県外出身の大学生からマニュアル車で楽しめるドライブコースを知りませんかとか聞かれました。「奈良原から峠越えて上芦川へ行き新道峠まで足を延ばして、眼下に河口湖、彼方に富士山の絶景を眺める。みやさか道から御坂路を走り、御坂峠の旧道を天下茶屋へと向かう。甲府盆地を眼下に見ながらフルーッラインを走ると、黄昏時はユーミンの歌のようで、日も暮れて星空と夜景の中を走れば銀河鉄道の気分です。」とお伝えしました。

表紙説明

石和春日居温泉郷
さくら温泉通りの
イルミネーション

まるで満開の桜のように華やかで非日常的な輝きを放つイルミネーションは往復約3km！
光で埋め尽くされた温泉地の夜の散歩を楽しむことができます。

編集後記

11月の委員会改選で新委員による広報編集委員会となりました。2年の任期を担当させていただきます。

令和5年が始まりましたが、昨年を振り返った時に思い浮かぶことは、ロシアのウクライナ侵略や急激な円安による食料品などの物価高騰、幼児への虐待などの暗い話題が多かったように思います。

しかし、昨年のサッカーワールドカップ日本代表の戦いは、日本中に勇気・元氣・感動をもたらししました。監督は、日本国民に対して「共闘してくれてありがとう」と語っています。

議会の広報は、どうあるべきかを考えたとき、市民に分かりやすいものであることが大切と考えます。そして、市民の皆さまが自分事としてとらえ、ともに考えていくことが重要だと感じます。

今後も市民の皆さまが議会に関心を持ち、「共闘」していただける笛吹市となるよう、わかりやすい広報に努めてまいります。

議会広報編集委員会

委員長 岡 由子